



中村正・秋田屋本店社長

ミツバチと人間の関わりは古く、歴史を遡るを旅した際に、この地と旧跡や文献にその足取りが数多く残されています。ミツバチ関連商品の多さが目を見張りました。

スペインのラ・アラで日常の生活に深く溶け込み、親しみある有益な昆虫として大切にされています。

ミツバチと云えば先ず発見され、その頃すでに蜂蜜を珍重していたことが伺われます。

昨秋にイベリア半島

ミツバチからの贈り物



なかむら・ただし 1951年、岐阜市生まれ。業界団体の県製菓協会、みづばちの家理事長。県養蜂組合連合会長を務める。県経済同友会代表幹事。県研究開発財団評議会会長を務める。

誌に論文発表。また、特許取得等を推進してきましたが、毎年新たな発見の連続で、ミツバチの潜在性、素晴らしさに感服しています。

蜂蜜が連想されますが、その生産物は蜂製品と称され、蜂蜜はじめ王乳(ローヤルゼリー)、蜜(ビースワックス)、花粉(ポーレンロード)、プロポリス、蜂針液と6種類あります。蜂は刺すのが特徴で怖

用されてきました。わが社の目標として、さらに小生のライフワークとして、その一つ一つを科学的に究明し、より効果的、効率的に活用できる物質を特定し、学術発表を行い、医学界及び広く社会から評価をいただくことができた。

蜜、王乳、蜜は医薬品として健康増進等に活用され、花粉、プロポリスは健康食品として普及しています。また、ミツバチは刺すのが特徴で怖

用されてきました。わが社の目標として、さらに小生のライフワークとして、その一つ一つを科学的に究明し、より効果的、効率的に活用できる物質を特定し、学術発表を行い、医学界及び広く社会から評価をいただくことができた。

有益な六つの蜂産品

学系の大学と共同研究を進め、学会発表及び学術専門す。